【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年1月31日(2025.1.31)

【公開番号】特開2025-13494(P2025-13494A)
【公開日】令和7年1月24日(2025.1.24)
【年通号数】公開公報(特許)2025-014
【出願番号】特願2024-193704(P2024-193704)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　5/18(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 15/08(2006.01)
Ｈ０１Ｇ　4/32(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　5/18　　ＣＥＳ
Ｂ３２Ｂ 15/08　　Ｚ
Ｈ０１Ｇ　4/32　５２１Ｇ
Ｈ０１Ｇ　4/32　５２１Ｐ

【手続補正書】
【提出日】令和7年1月20日(2025.1.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくともＡ層を有するフィルムコンデンサ用の延伸フィルムであって、
（１）前記Ａ層は、１００質量％中、５５質量％以上９９質量％以下のポリプロピレン系樹脂と、１質量％以上４５質量％以下の、側鎖に脂環構造を有するポリマーとを含有し、
（２）前記Ａ層は、少なくとも一方向に延伸されており、
（３）前記延伸フィルムの伸長率は０．２％以上、４．５％以下であり、
（４）前記延伸フィルムの厚みは１０μｍ以下である、
ことを特徴とする延伸フィルム。
【請求項２】
前記Ａ層は、１００質量％中、５５質量％以上９７質量％以下のポリプロピレン系樹脂と、３質量％以上４５質量％以下の、側鎖に脂環構造を有するポリマーとを含有する、請求項１に記載の延伸フィルム。
【請求項３】
前記ポリマーは、ガラス転移温度が１００℃以上１８０℃以下である、請求項１に記載の延伸フィルム。
【請求項４】
前記脂環構造は、シクロヘキサン構造を有する、請求項１に記載の延伸フィルム。
【請求項５】
前記延伸フィルムの全光線透過率が８０％以上である、請求項１に記載の延伸フィルム。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか一項に記載の延伸フィルムと、前記フィルムの片面又は両面に積層された金属層とを有する、金属積層フィルム。
【請求項７】

請求項１～５のいずれか一項に記載の延伸フィルムを備える、フィルムコンデンサ。
【請求項８】
請求項６に記載の金属積層フィルムを備える、フィルムコンデンサ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
つまり、本発明は下記の延伸フィルム、それを用いた金属積層フィルム及びフィルムコンデンサに関する。
１．少なくともＡ層を有するフィルムコンデンサ用の延伸フィルムであって、
（１）前記Ａ層は、１００質量％中、５５質量％以上９９質量％以下のポリプロピレン系樹脂と、１質量％以上４５質量％以下の、側鎖に脂環構造を有するポリマーとを含有し、
（２）前記Ａ層は、少なくとも一方向に延伸されており、
（３）前記延伸フィルムの伸長率は０．２％以上、４．５％以下であり、
（４）前記延伸フィルムの厚みは１０μｍ以下である、
ことを特徴とする延伸フィルム。
２．前記Ａ層は、１００質量％中、５５質量％以上９７質量％以下のポリプロピレン系樹脂と、３質量％以上４５質量％以下の、側鎖に脂環構造を有するポリマーとを含有する、上記項１に記載の延伸フィルム。
３．前記ポリマーは、ガラス転移温度が１００℃以上１８０℃以下である、上記項１又は２に記載の延伸フィルム。
４．前記脂環構造は、シクロヘキサン構造を有する、上記項１～３のいずれか一項に記載の延伸フィルム。
５．前記延伸フィルムの全光線透過率が８０％以上である、上記項１～４のいずれか一項に記載の延伸フィルム。
６．上記項１～５のいずれか一項に記載の延伸フィルムと、前記フィルムの片面又は両面に積層された金属層とを有する、金属積層フィルム。
７．上記項１～５のいずれか一項に記載の延伸フィルムを備える、フィルムコンデンサ。
８．上記項６に記載の金属積層フィルムを備える、フィルムコンデンサ。